

1 全国学力・学習状況調査（6年，H31.4.16実施）

正答率	国	県	本校
国語	63.8	64.0	57.0
算数	66.6	66.0	58.0

(結果分析)

- ・国語、算数ともに全ての領域で平均を下回る結果となった。
- ・国語では特に「書くこと」、算数では特に「量と測定」に課題が見られる。
- ・質問紙の結果から、「学校の決まりを守っている」と回答している児童の割合が全国平均より6.8ポイント高い。また、「人を助けたい」という回答も5.6ポイント高い。学習面のアンケート結果では「総合的な学習の時間で課題解決に取り組んだ」や「学級会でクラスをよりよくする方法を話し合った」「道徳で話し合い活動に取り組んだ」という回答が全国平均より大幅に高かった。国語や算数がわかると回答している児童の割合も全国平均を上回り、調査結果とは逆の結果となった。
- ・「家庭学習の計画を立てること」が6.7ポイント低く、学習を自分の力で進めることに課題が見られる。

2 埼玉県学力・学習状況調査（4・5・6年，H31.4.11実施）

<6年>

正答率	県（レベル）	市（レベル）	本校（レベル）
国語	62.2(7-B)	60.4(7-B)	59.6(7-C)
伸び（国語）	2	3	3
算数	61.5(6-A)	60.8(6-A)	55.6(6-B)
伸び（算数）	2	2	3

(結果分析)

- ・全領域、全観点ともに県平均を下回っているものの、学力の伸びは県平均よりも大きい。
- ・質問紙からは勉強する理由は「先生に褒められたい」と回答する児童の割合が県平均よりも高く、認められたいと思っている児童が多くいることがわかる。また、「数か月ごとに新しいことに興味を持つ」項目の割合が高く、興味関心が多岐にわたることがわかる。
- ・勉強方法では「過去の学習と関連付けること」「計画を立てて」「立てた計画を実行すること」に課題が見られる。

<5年>

正答率	県（レベル）	市（レベル）	本校（レベル）
国語	52.3(6-B)	50.3(6-C)	50.9(6-C)
伸び（国語）	1	0	-1
算数	68.2(6-B)	66.5(6-B)	64.6(6-B)
伸び（算数）	3	3	3

(結果分析)

- ・国語では「話すこと・聞くこと」、算数では、「量と測定」に課題がある。
- ・質問紙を見ると話を聞くときに、「思い込みで判断しないようにしている」項目が平均よりも高く、「大事なことを自分の言葉でまとめる」項目も平均よりも高い。
- ・勉強方法では「過去の学習と関連付けること」「計画を立てること」「大事なことを言われなくてもノートに書くこと」に課題が見られる。

< 4年 >

正答率	県 (レベル)	市 (レベル)	本校 (レベル)
国 語	56.1(5-A)	55.8(5-A)	50.5(5-B)
算 数	70.2(5-B)	71.1(5-A)	64.5(5-C)

(結果分析)

- ・全領域・全観点において平均よりも低い結果となった。
- ・質問紙を見ると、勉強する理由では「褒められたい」項目が県平均よりも、本校の5・6年よりも高い結果となった。また、どの質問でも県平均を下回るものが多く、自己肯定感が極端に低い。